



平成23年6月2日

コア・サイエンス・ティチャー養成のための公開授業

長崎大学では、長崎県教育委員会と共同で科学技術振興機構（JST）の支援のもと「理数系教員（コア・サイエンス・ティーチャー：CST）養成拠点構築事業」を行っております。この度、養成プログラムⅡの学校現場での実習の一環として下記の日程で公開授業を行います。授業では、小学校4年生の「電池のはたらき」の単元でエネルギーの変換と保存に関係した光電池の一つとして、近未来の太陽電池である「色素増感型太陽電池」を取り上げ、花の色素を利用して電池ができることを子どもたちが参加して学びます。折からの原発事故により、エネルギー問題は重要な社会問題となっていますが、子どもたちにも今後のエネルギーについて考えてもらう、一つの契機となる授業です。今回の授業は、長崎大学での養成プログラムⅠを修了したCST候補者だからこそ、できる授業の一つです。今後の長崎県での理数教育のより一層のレベルアップを予感させるものです。多数の報道機関にご参加いただけますようお願い申し上げます。

なお、今回の授業は、長崎県の進める「長崎っ子の心を見つめる教育週間」にも該当する授業であり、保護者や地域の方が参観予定です。

記

日時：6月16日（木）13:45～14:30

場所：平戸市立紐差小学校

平戸市紐差町665

内容：小川直仁教諭による小学校4年生の「電池のはたらき」の単元最後の授業で、花の色素を利用して色素増感型太陽電池を児童が作製し、実際に電池として働くかどうかを調べる。また、今後のエネルギー問題について考える契機とする。

[問い合わせ先]

長崎大学大学院教育学研究科 星野

TEL 095-819-2332

Mail hoshino@nagasaki-u.ac.jp